



安保法制と立憲主義の回復を求める 奈良1区市民連合 第35号 ニュース



1区市民連合 HP

自公与党過半数割れ 国民が厳しい審判を下す！

1区市民連合
入会案内

自民党政治を完全に終わらせよう

第50回衆議院選挙では、裏金問題や旧統一教会との癒着問題を何一つ説明せず、一方で国民生活を犠牲にして軍拡増税路線に突き進む自民党政治に対して、15年ぶりの「与党過半数割れ」という国民による厳しい審判が下されました。何よりも改憲派に3分の2を獲らせなかったことの意味は大きく、私たち奈良1区市民連合はこの結果を心より歓迎するものです。引き続き自民党政治を完全に終わらせるために、より大きく「市民と野党の共闘」を進めていくことが必要です。

立憲民主党に求められる大きな役割

今回の選挙で、立憲民主党やれいわ新選組が大幅に議席を増やした一方で、国民民主党も大幅に議席を増やしたこと、日本共産党が2議席減ったことにより、私たちが望む「市民と野党の共闘」が揺らぐことも危惧されます。そもそも自民党をここまで追い込み、野党が躍進することができたのは、日本共産党機関紙「しんぶん『赤旗』」の功績が大変大きかったことは言うまでもありません。特に立憲民主党には今後、市民連合と合意した政策にもとづき、日本共産党などとともに誠意をもって国会内外で野党共闘を進めていくことが求められます。

奈良1区市民連合のとりのり

また今回の選挙は、衆院選前に与野党の代表選挙もあり、また国会解散までの戦後最後の国会審議の中で、安保法制の廃止などの政策については、立憲野党間で十分な話し合いがされず、野党共闘の構築は不十分なままとなりました。奈良1区市民連合としては、ギリギリまで候補者調整のための要請を、立憲民主党、日本共産党の中央及び県組織に働きかけましたが、候補者調整は進まず、馬淵候補、井上候補と政策合意したうえで、会員それぞれが支持する候補者を応援することとなりました。また各立憲野党の躍進をめざし、何としても自民党政治を終わらせようと、公示前は「まっとうな政治を私たちの手で『キャンペーン』、公示後は「『選挙に行こう』キャンペーン」を駅頭で展開しました。急な提案にもかかわらず、日を追うごとに参加者が増え、市民との対話も広がり、変化の手ごたえを感じることができました。奈良では実現しませんでした。全国的には一部限定的とはいえ、いくつかの選挙区で野党共闘が成立し、成果を上げたことは、次につながる希望となっています。

新たな「市民と野党の共闘」の創造を

今私たちは、与党が過半数に達せず、躍進したとは言えやはり過半数に満たない野党との間で政権運営が模索されるというかつてない局面の真ただ中にいます。選択的夫婦別姓や企業団体献金の禁止などの具体的な政策を確実に実現させながら、国民の命、暮らしを守り、戦争の準備ではなく、平和への準備を進める国への転換を着実に進めていくためには、立憲各野党、国民世論への粘り強い働きかけが不可欠です。

奈良1区市民連合は、これまで行ってきた各立憲野党への要請や協力関係の構築、各地域交流会で進めてきた草の根の運動をさらに広げることにより、新たな「市民と野党の共闘」を創り出していくことを改めて皆さんに呼びかけます。引き続きともに頑張りましょう。

食料問題から考える日本の平和

浅岡 元子

【日本の食が危ない】地域交流会で食料問題から考える「日本の平和」についてお話をする機会を頂きました。政府は国を守るためと称してアメリカに言われるままに軍事費を突出させ、同盟国と軍事演習を繰り返して、台湾有事を煽り自衛隊に若者を誘導する政策を強引に進めています。こんな政治を変えるため、日本の食の現状から「戦争に向かっている場合ではない！」という世論を広げたいと思います。食料生産に適した日本が食料自給率を38%にまで下げた原因は何か？また9月初めにはお米が品薄になり買えない事態が起きました。

【食料政策は？】戦後の農政の歴史を見ると、政府が「国民の食料を守る」という責任を放棄したままアメリカに従属してきた事がわかります。1954年のMSA協定(日米相互防衛援助協定)―通称「余剰農産物処理法」により、日本はアメリカの余剰農産物の小麦と脱脂粉乳の受け皿となりパン給食を開始し、その売却代金は自衛隊創設に充てられました。1960年には日米新安保条約第2条に「両国間の経済的協力を促進する」と謳われ、アメリカからの農産物輸入自由化・市場開放要求が進み、輸入依存体制の下で日本農業発展の自立的基盤が根底から崩されました。

お米は1966年以降やっと自給が可能になり、1967年から3年連続大豊作で米生産額は1445

万トンを記録。しかし米食民族の主食をお米から小麦に変えるアメリカの「穀物戦略」は政府の強力な後押しで大成功しました。早くも米の消費量の落ち込みが大きくなり、1970年から米の生産調整(減反政策)がスタート。1986年には減反が全



水田面積の27%、77万ヘクタールに達しました。日本の食料自給率は38%ですが、肥料・野菜の種子・石油の90%は輸入に依存していて、輸入がストップすると自給率はたったの10%になるそうです。

【有事食料法とは】今年5月29日に「農政の憲法」と言われる「改正食料・農業・農村基本法」が成立しました。しかし、日本の食料・農業を巡る危機的な状況を解決するどころか食料自給率の言葉さえなく、大学の法人化で研究者に稼げる研究をさせ、大学発のベンチャー企業がバイオ企業と共に国の後押しを受けて開発する構図が進んでいます。生産の中心であった農・漁業従事者から、大企業による食料生産へと食料支配が進んでいます。関連3法の一つ「有事食料法」は、平時の備えを放棄したまま政府が一丸となって「食の危機管理」を命令・罰則付きで行うというものです。

【食の自給こそ食糧の安全保障】最後に東大大学院特任教授の鈴木宣弘さんの論文を元に学習しました。鈴木さんは、食料安全保障の要は「国産の食料を確保すること、水田を水田として維持すること」だと言い、「種の自給なくして食料の自給なし」を強調しています。食を取り巻く状況にもアメリカと日本の歪な関係がはっきり分かりました。アメリカ言いなりから脱却し、独立国家として国民の声に真摯に耳を傾け、世界の中の日本の役割に目を向ける政府に変えることが解決策ではないでしょうか。今こそ市民と野党が力を発揮する絶好のチャンス到来です。共に頑張りましょう。

「まっとうな政治を私たちの手で!」「選挙に行こう!」キャンペーン

「まっとうな政治を私たちの手で!」キャンペーンは9月30日から公示前の10月13日まで早朝2回、午前1回、午後2回、「選挙に行こう!」キャンペーンは早朝3回、午後3回行いました。

キャンペーンのねらい

*衆議院選挙に向けての奈良1区市民連合の政策を広く市民に訴え広げていく

*「自民党政治を終わらせよう!」「まっとうな政治を市民の手で!」を訴える。

キャンペーンを終えて

*今回の特徴は選挙への市民の関心が見られた事、どの政党に投票したらいのか迷っている市民が多かったことです。トークをじっと聞いている通行人も増え、「トークが心にしみたと、とても良かった」と感想をいただく事もありました。

*若者が選挙に関心を持っている事。若者との対話が毎回ありました。写真に納まってくれる高校生グループも。

*奈良1区のパンフを受取ってくれて、じっと読んでいただき、対話も出来ました。

*朝の通勤時間帯でも大型パネル(「選挙に行こう」「自民党政治を終わらせよう」)や「裏金問題の自民党にNO」「旧統一教会の自民党にNO」などのパネルをじっと見ながらの通勤客が増えました。

*なんと、キャンペーン中にトークを聞いて「私が思っている事をトークしていただきました」と奈良1区市民連合に会員として加入していただきました。

*公示後「選挙に行こう」キャンペーンではマイクが使えませんが、日を追うごとに参加者の声が大きくなり「自民党政治を終わらせよう」の訴えが通勤している人や市民に響いたという手ごたえがありました。

*会員の協力もありました。早朝や急なキャンペーンにも「やっばり、参加しよう」と来ました」と駆けつけていただいた方、トークの内容を準備して参加された方、大型パネルを作ろうと前日の呼びかけにもかかわらず集まっていたとき、ワイワイと語り合っていた素敵な「手作り感満載のパネル」誕生。

キャンペーンの一コマ(西大寺駅にて)



地域交流会の報告と今後の予定

【あいあいおしゃべり会】

10月4日(金) 1時半 テーマ「食料問題から考える『日本の平和』」 話題提供 浅岡元子さん。感想：日本の食料自給率は他国に比べて断トツに低いのは種子までアメリカの支配下にある日本。/ 農業が農民の手から企業の手へ。法人化された大学は遺伝子組み換えベンチャー企業へ。/ 防衛予算は増え、農林水産予算は減っていく。将来の食料はどうなるんだろう？農民はどうなるんだろう？とても不安！知らないうちに食料はこんなことに。驚くばかり。次回：11月8日(金) 1時半から 「喋ろう♡喋ろう♡—日本政治は？憲法九条は大丈夫？」

【富雄・帝塚山】

9月18日「食料問題を考える日本の平和」のテーマで浅岡元子さんが話題提供。参加者は：* 農業政策について全く無知でしたが、大問題であり矛盾だらけな事を認識。各党の農業政策をしりたい。* 日本の農家の人は高齢化していて大変なので農業をされている人達に沢山支援していただきたい。日本で農作物を作って自給自足でやっていくようにしないと食べるものがなくなって飢餓に陥るかもしれない。自衛費・防衛費が使われ過ぎかも。次回：12月4日(水) 13時30分 講師：大阪生活と健康を守る会 大口耕吉郎さん、テーマ「維新は何をしてきたか、何をしようとしているか」



富雄・手塚山学習会 (講師：浅岡さん)

【ならやまの会・高の原】

10月21日(月) 14時 高の原駅前団地集会所 講師：大阪生活と健康を守る会 大口耕吉郎さん。テーマ「維新は何をしてきたか、何をしようとしているか」。維新とは*「アメリカとの核共有すべき」と松井元市長発言。日本被団協が「維新」に猛抗議。*独裁・自己責任と分断・なんでも民営化・地方自治破壊・改憲派・選挙手法はマスコミの利用・ワンフレーズ戦略・危機感を煽り思考停止、一気に制度改悪(ショック・ド

クトリン) 府財政再建プログラムで人件費大幅カット*憲法・教育基本法違反「教育基本条例」で知事と市長が教育委員会を支配。府立学校条例で17校廃校。小学校11クラス以下は廃校。17校廃校。学校間競争・教育予算削減。*違法・異常な生活保護行政・大阪市営府営の管理戸数削減、国保料を55万6000円から66万3000円へ・

介護保険料全国1位(大阪市9249円)*大阪万博はカジノ・IRのため(夢洲は汚染土壌・軟弱地盤・建設費が当初予算1250億円が2350億円関連費8390億円・大阪市民負担1人10万6878円)。参加者の感想：・思っているよりはるかに恐ろしい現実。今回の選挙で票を落としそうで少し安心。反維新の運動をこの先考えていかなければ。・詳しい話を聞いてあきれやら驚くやら、何が目的なのか。万博・カジノ・IRについても理解しがたい事ばかり。・万博への奈良の学校の見学についてももっと内実を掘り市民と一緒に反対していく事が維新の奈良での浸食を防ぐ事に繋がると思う。次回：11月18日 13時半 高の原駅前団地集会所

【済美・飛鳥・紀寺】

次回：11月29日(金) 14時 岡谷本館2階会議室 学習交流会「食料問題から考える日本の平和」。問題提起：浅岡元子さん

【学園前・あやめ池・西大寺・平城】 10月5日(土) 10時 運営委員会。① 第78回奈良1区市民連合運営委員会(拡大)の報告(*総選挙について *祝園ミサイル弾薬庫について。*選挙後も公約を守る立場で。*市民連合に対してもっと知る機会をふやす)。② 取組：学園前地域交流会として要請を行う。次回：平和学習予定(日にち未定)

【佐保若草】

*9月24日(火)「食料安保を考える」浅岡元子さんを講師に、戦後一貫して、日本の食料自給率が低下してきたのは、アメリカからの日本に対する食料戦略の圧力であること、国民の食料と農業・農村を守るための抜本的な政策と予算が必要であることを学習。*10月22日(火)衆院選についての意見交換、佐保幼稚園閉園問題と鼓阪小統廃合についての現状報告。佐保幼稚園の説明会にて、令和10年3月に閉園予定と説明、鼓阪小では、佐保小建て替え工事の補正予算が議会で否決されたことが報告。次回：事務局会議 11月4日(月) 10時

奈良1区市民連合第5回総会の案内

日時；12月7日（土）午後1時半から4時まで

場所；奈良市生涯学習センター3階学習室

総選挙、他団体のイベントとの関係で総会開催が12月にずれ込みました。総選挙を含めた1年間の運動の総括と次年度に向けての方針を話し合います。新たな市民と野党の共闘を構築していくためにも、多数の参加をお待ちしております。



鼓阪小学校正門と築150年の講堂

公立幼・小をなくさないで！ 佐保幼も鼓阪小も存続を

奈良市は令和8年に鼓阪小を廃校にして佐保小への統合を、令和9年には佐保幼稚園の閉園を決め、準備を進めています。ところが8月、統合を前提とした佐保小建て替え工事の入札が資材の高騰などで不成立、市は補正予算を組み、9月議会に提出するも、鼓阪小保護者の動きは議会も動かし、否決されました。佐保小はすでに遺跡調査が行われ、運動場が半分しか使用できない等子どもたちの学習環境に支障をきたしています。しかしそもそも鼓阪小保護者や住民の声を無視し、強引に進めた統廃合計画に問題があり、問われるべきは仲川市長と市教委の責任です。10月の説明会で、市側は計画通り統廃合

を進めるとしながらも、令和8年統合を言明することができませんでした。

また佐保幼稚園の存続を求める運動は、保護者や元保護者が中心になって署名が集められ、6月末に第2次署名（計2694筆）を提出。10月の佐保幼での説明会では、市側から令和10年の閉園予定を保護者に伝えられ、なんと保護者の力で再び閉園予定を1年延期させたのです。

今、小さな幼稚園や小学校の保護者の力が、周りの人たちの共感を得ながら、市政を動かしています。この力を公教育を守る大きな力に広げていきましょう。（坂下）



佐保幼稚園

奈良1区市民連合 会員を1000人に！

2024年11月7日現在日現在：601人

どんな社会に住みたいか、夢ある世界を未来に手渡すために皆で考えましょう。会員になって近くの地域交流会で様々なことを学びながら、笑ったり怒ったり驚いたり……。(P5参照)

会費：年1000円

第34回タウントークの案内

日時；11月30日（土）11時から12時
場所；学園前駅前北口広場

自公与党を過半数に追い込んだ力で、いのち、くらし、平和を守る政策を実現させていきましょう！